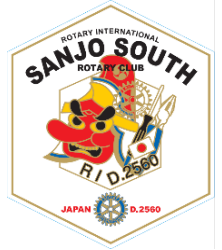


# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2022-23 クラブテーマ **未来創造**

2023. 2. 13

第一例会

No.2439

No.22



## 会長挨拶

三条南ロータリークラブ  
会長

**松崎 孝史**

先週税理士会の会議で水戸へ行ってきました。

早朝の新幹線で燕三条～上野～水戸という行程でした。卒業・入学式シーズンも近いのか燕三条駅では、入学を控えた学生とその両親を何組か見かけました。

何年か前は送られる立場だった親が、今度は送る立場になったのです。

学生生活の今昔の話をしたと思います。

- ① 新幹線ではなく「特急とき」「急行佐渡」でした。
- ② オートロック付きのマンションではなく隣の部屋の音が聞こえる部屋でした。
- ③ 携帯電話はなく夜 10 時に公衆電話に並んで家に電話しました。
- ④ 部屋にお風呂はなく銭湯通いでした。

今は行こうと思えば 2 時間で東京に着きます。昔は半日かかりました。帰ろうと思ってもなかなか帰れない。電話で親の声を聞きたくても公衆電話の順番が来るまでなかなか回ってこない。だからホームシックにかかる学生も多かったような気がします。

携帯電話など ICT で学生たちの気持ちに変化が生じたものの、変わらないのが送り出す親の気持ちのような気がします。

◆本日の出席：41 名中 28 名

◆先週までの通算出席率：84.39%

◆先週までのメイクアップ

▷1/31 三条北 RC へ 星野健司君、坪井康紀君、佐々木常行君  
▷2/2 三条東 RC へ 佐々木常行君、坪井康紀君  
▷2/4 米山記念奨学セミナーへ (ホテルオークラ新潟) 松崎孝史君、布施純也君  
▷2/6 三条南 RC 夜例会欠席者の訃報へ 西巻克郎君

◆幹事報告 太田義人副幹事

◇長岡西ロータリークラブより「創立 40 周年記念祝賀会」のご案内

▷日時 2023 年 4 月 23 日 (日) 午後 2 時開会▷

場所 長岡ベルナル (長岡市千秋)▷地区内各クラブより会長 1 名に会場案内、当クラブからは松崎孝史会長出席予定

◆新津中央ロータリークラブより「第 21 回ライラ研修報告書」送付

▷2022 年 10 月 23 日 (土) オンライン開催されたライラ研修の報告書が完成し送付されました。(坪井康紀青少年奉仕委員長、三条信用金庫職員様 2 名が参加)

◆ロータリーの友事務局より「ロータリー手帳」の予約受付開始のお知らせ

▷次年度 (2023-24 年度) のロータリー手帳が必要な方は、受付の申込書に〇印をつけて申し込んでください。5 月末～6 月上旬にお渡しする予定です

◆2月のロータリーレート

▷2023 年 2 月：1 ドル=130 円

(1 月：1 ドル=132 円)

◆4月の例会変更について

**4月3日(月) 通常例会⇒はクラブ休会**

**4月10日(月) ランチ例会⇒夜例会 (春の旬例会)**



国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ (カナダ)  
第2560地区ガバナー 高橋 秀樹 (新潟)  
第4分区分ガバナー補佐 渡邊 喜彦 (巻)  
会長 松崎 孝史  
幹事 太田 義人  
SAA 桑原 朋子

事務局  
〒955-8666 三条市町 2-5-10  
三条信用金庫本店内  
TEL 0256-35-3477  
FAX 0256-32-7095  
E-mail info@sanjo-minami.jp  
URL https://www.sanjo-minami.jp

2/13 13,000円 本年度累計 306,000円  
松崎会長「先日の新年会例会御出席ありがとうございました。あと半年、皆で楽しみましょう」  
西島君「2月に入って5回、東京への出張がありました。間違いなく観光客（外国人も日本人も）増えています。新幹線の乗客も同様に増えています。隣の席は空いていませんでした」  
石山君「1月は出席できなくて申し訳ございませんでした」  
西巻君、大溪君、坂井君、星野君、田代君、銅冶君、吉沢君、加藤君、熊倉君「BOXに協力します」  
野崎君「BOXにご協力ありがとうございました」

丸山 智 クラブ会報副委員長



3つの記事をご紹介します。

横組 p4~5 「R | 会長メッセージ：女児のエンパワメントは、公平性以上のことをつくりだす」

ジェニファー・ジョーンズR | 会長の巻頭文では、ウガンダの難民居住地滞在の際の出来事などを紹介したうえで、次のように語っています。

『女児と女性のエンパワメントという私たちの仕事は、公平性を創造するというだけの話ではありません。健康や教育に関わることもあります。安全の確保に関わることもあります。アプローチは違って、常に、基本的人権の問題なのです。』

『今や、ロータリーは大躍進の時代を迎えており、世界中で注目されています。女児や女性のポテンシャルが最大限に発揮できるようにロータリーが活動していけば、私たちはポジティブで持続的な変化を生み出すための会員増強とより強力なパートナーシップへの新しい道筋を切り開くことができます。この大事な取り組みのために、引き続きご協力をお願いします』

横組 p6 「2月23日は、ロータリー創立記念日」（次頁をご覧ください）

横組 p30 「Food for Thought ~美味しい生活のためのヒント〈テーマ〉ちょっと細菌、発酵食品」

細菌、カビ、酵母などの微生物である「菌」を使って作る食品はパン、酒、ヨーグルトなど、身の回りに欠かせないものがたくさんあります。

『チーズもその一つ。原料や製法によって、その種類は1,000を超えるともいわれ、ウシやヒツジ、ヤギなどの乳を原料とし、乳酸菌や酵素などを添加して作られます。さらに、カビを付けて熟成させるものも。外皮に白カビを付け熟成させたカマンベール、青カビをチーズの中で生育熟成して作られるゴルゴンゾーラなどは日本でも人気ですね。ちなみに、見た目で白カビとっていますが、カマンベールチーズに利用されるペニシリウム・カマンベルティは青カビ属です』

『私たち日本人に欠かせないかつお節もカビが大事な役割を果たしています。ただし、これらは特殊な例。基本的にカビは有害なもので、食品の保管には十分ご注意ください』

◆理事・役員会報告

日時：2023年2月13日(月)12:10より

会場：三条信用金庫3階ロビー

出席：15名中11名

議事1. 米山記念奨学生受入れについて【承認】

米山奨学生：2023年4月1日～2025年3月31日（2年間）  
カウンセラー：太田義人会員

議事2. 米山、財団（ポリオプラス）への追加寄付について【承認】

例年同様に米山特別寄付にBOXから4,000円、ポリオに300円

議事3. 「三条市二十歳（はたち）を祝う会」協賛について【承認】

旧・成人式。例年通りスマイルBOX会計より10,000円

議事4. 例会変更について

4/3は休会、4/10は夜例会（春の旬例会）

## 2月23日は、ロータリー創立記念日

1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と初めて会合を開いた日です。



ロータリーの創始者、ポールP.ハリス(撮影:1915年頃)

*The rise or fall of civilization will depend upon the thoughtfulness or the thoughtlessness of men. The greatest thing that can happen to man or nation is to stimulate the individual or the national thoughtfulness.*

文明の栄枯盛衰は、人間の思慮の有無によって決まります。

人類または国家のできる最大のことは、個人または国家の考慮を促すことです。

— ポール・ハリス

『The Rotarian』1916年2月号「The Future of Rotary」より

ガバナーのロータリー・モメント



## 災害時における 会員奮闘に接して

第2560地区 新潟

高橋 秀樹ガバナー (新潟RC)



支援テント内の雑巾はロータリーの心

去年8月3日からの大雨で、新潟県北部は甚大な被害を受けました。人的被害は重傷1人、住宅被害は床上・床下浸水合わせ2,000棟を超え、上下水道、幹線道路も大きな被害を受けました。激甚災害の指定を受けたこの被災地の復旧・復興には、まだ時間がかかりそうです。

災害発生時、当地区ロータリアンの活躍には目覚ましいものがありました。最も被害が大きかった地域には中条胎内RCや村上岩船RCがあり、すぐさま被災者の支援活動を開始。中条胎内RCの磯部由美子会長は、自身が被災しながらも自らを顧みず大奮闘。三条RCの関川博会員のように、他分区ながら自社の社員と駆け付けたロータリアンもいました。何と、元ロータリアンもロータリークラブの支援テントへ急行してくれたのです。

被災地周辺のクラブは協力し、被災者用飲料水120ケースを確保。中条RCは大量のウエスや雑巾、そして決壊地補修のため1,600個の土のうを届けました。村上RCは、被災地支援活動の資金難に陥った村上商工会議所青年部へ、100万円を寄贈しました。

災害が週末に生じたことも不運で、私はとにかく地区役員、須貝八栄ガバナー補佐や各クラブ会長らに連絡を取り支援を求めましたが、恥ずかしながら、己自身は大したことはできなかったのです。ですが、被災地のクラブを訪問しますと皆口々に「ガバナー、ありがとう」。この時のことはこれからずっと忘れられないでしょう。

他にも数え上げればロータリーの支援は切りがありません。自分がこのような人々の仲間であることを、心からうれしく思います。

(大学)